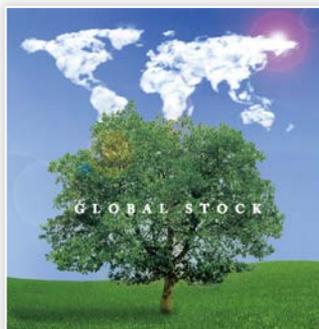


【ご参考資料】

2018年11月22日

野村アセットマネジメント株式会社



コツコツと「世界樹」を育ててみませんか？

「グローバル・ストック 愛称：世界樹」

Aコース（為替ハッジあり 年2回決算型）／Bコース（為替ハッジなし 年2回決算型）

追加型投信／内外／株式

積立投資のご案内

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

投資をする際は、「安いときに買って、高いときに売りたい」ものですが、資産価格の動きを予測するのは困難です。そこで、タイミングを分散して投資を続ける「積立投資」という方法があります。

「積立投資」では、毎月1回など一定期間ごとに買い付けるため、自動的に時間分散を実現できます。価格が高いときには数量を少なく、価格が安いときには数量を多く購入することが可能（ドル・コスト平均法）であることから、価格が変動しながら成長していく資産で「積立投資」を実践すると、より効率的な資産形成が期待できます。

積立投資のポイント

POINT
1

少額から積立金額を設定できる。

毎月決められた日に一定額を積み立てるので、一度にまとまったお金を投資することに迷いを感じる、という方も無理なく自分のペースで長期的に資産を作っていくことができます。

POINT
2

定期的に購入できる。

「預金口座等からの自動振替」などの簡便な方法で、毎月一定額を自動的に積み立てるため、「こまめに購入する時間がない」という忙しい方や、「手もとにお金があるとつい使ってしまう」という方にもピッタリです。また、投資タイミングについても悩む必要がありません。

POINT
3

時間分散によるリスク低減が期待できる。

毎月1回など、一定期間ごとに買い付けるため、自動的に時間分散を実現できます。価格が変動する商品に一定金額の投資を続けることで、価格が高いときには数量を少なく、価格が安いときには数量を多く購入することが可能です。（ドル・コスト平均法）

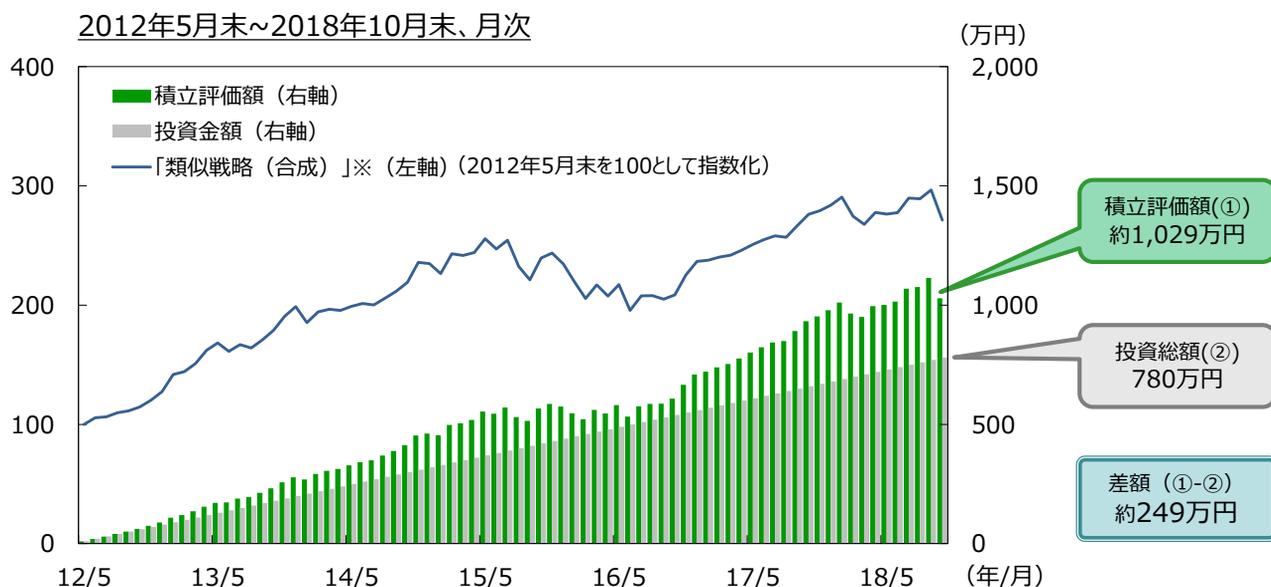
- ・上記のポイントは一例であり、全てを網羅しているわけではありません。
- ・当資料では、積立投資を「定期的に一定金額を同一の金融商品に対して継続的に投資していく方法」とします。

「グローバル・ストック」の類似戦略による積立投資のシミュレーション

「グローバル・ストック」（以下、ファンド）は、野村アセットマネジメントが厳選した、運用スタイルや投資対象の異なる複数のマネージャー（運用会社）に運用を委託するマネージャー・オブ・マネージャーズ形式のファンドです。世界株式の運用で極めて優秀な実績を誇る3社（4ページご参照）が当ファンドの設定から運用を担当しています。運用スタイルの異なる3社が運用することで、相場局面によらず、堅固な収益を上げることを目指します。「積立投資」に相応しいファンドとして当ファンドをご紹介します。

ファンドの実績が短いため、以下では3社の類似戦略を合成し、積立投資によるシミュレーションを行なっています。グラフは、2012年5月末から毎月末に「類似戦略（合成）」※を10万円ずつ積み立てたと仮定した場合の投資総額と積立金額の評価額の推移を表しています。

2018年10月末時点の積立評価額は約1,029万円となり、同時点の投資総額780万円を上回りました。



※「類似戦略（合成）」はファンドの投資対象である外国投資信託を運用する各マネージャーの類似戦略に均等配分（月次リバランス）した場合のパフォーマンスを円換算したものです。実際のポートフォリオは、必ずしも均等に投資する訳ではございませんので、あくまでもご参考としてお考えください。一番運用期間が短い類似戦略は2012年5月末から運用を開始しており、「類似戦略（合成）」は2012年5月末を100として指数化しています。

上記のシミュレーションにおいては、「類似戦略（合成）」からファンドと同じ運用管理費用（信託報酬相当分の年1.98%）を、毎月の積立額から購入時手数料（3.24%）を控除しています。

（出所）各副投資顧問会社の情報等を基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータを基に野村アセットマネジメントが算出したシミュレーション結果であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。算出過程で取引コスト等は考慮しておりません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。積立での時期によっては、積立金額の評価額が投資総額を下回る場合があります。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します（また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

「グローバル・ストック」のポイント

1 世界株式市場の長期的な成長シナリオに着目

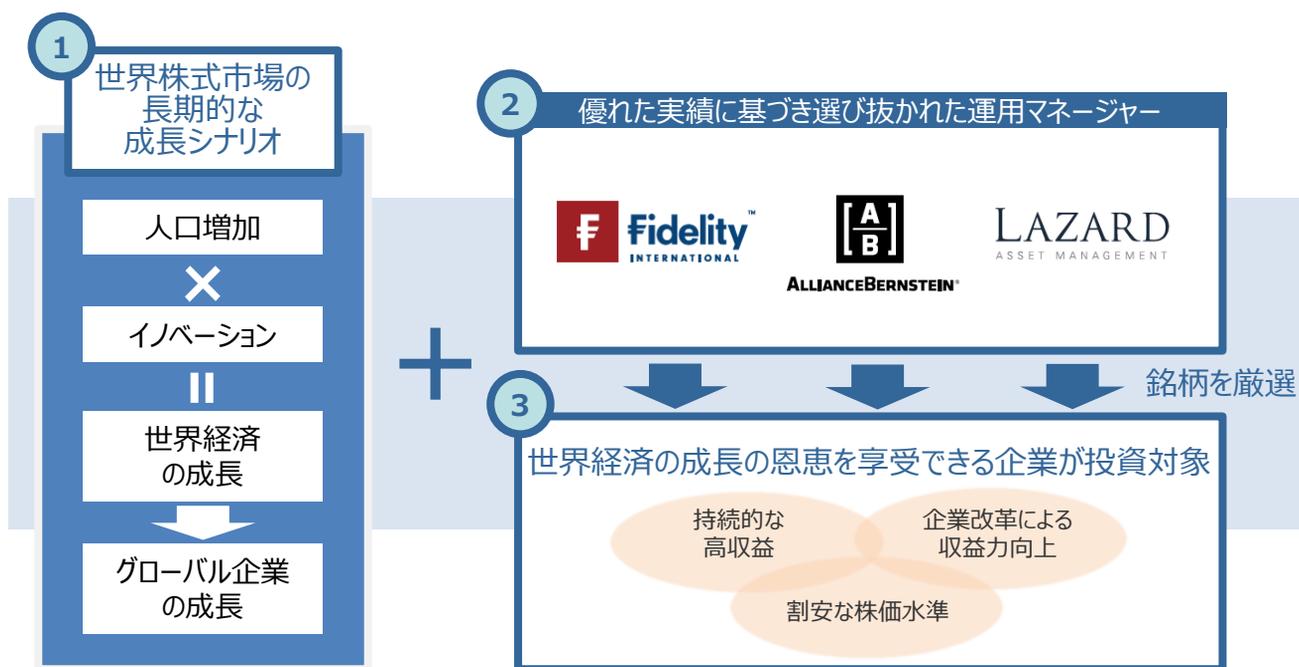
世界の株式市場を投資対象とします。その中でも、人口増加やイノベーション（革新）による生産性向上を背景とした世界経済の成長に着目し、その恩恵が享受できる企業に投資します。

2 優れた実績に基づき選び抜かれた運用マネージャー

世界中のグローバル株式投資信託約3,000本から厳選します。2018年10月末現在、下図の3社（詳細は4ページご参照）が運用を担当しています。超過収益の源泉を分散することで、より安定的に市場平均を上回ることを目標とします。

3 世界経済の成長の恩恵を享受できる企業が投資対象

成長する世界経済において、「持続的な高収益」あるいは「企業改革による収益力向上」が期待できる企業、さらに「割安な株価水準」となっている企業などに注目して銘柄を厳選します。



(注1) 上記はファンドの運用におけるポイントの概要を説明したものであり、全てを網羅したのではなく、必ずしもあてはまらない場合があります。
 (注2) 上記は、2018年10月31日現在の副投資顧問会社もしくはグループのロゴおよび名称などであり、投資顧問会社の投資判断その他の理由により、適宜増減および入替が行なわれる可能性があります。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

運用を担当するマネージャーの特徴

2018年10月31日現在、厳選した結果、40年以上の長い歴史と優れた実績を誇る運用マネージャー3社が採用されています。

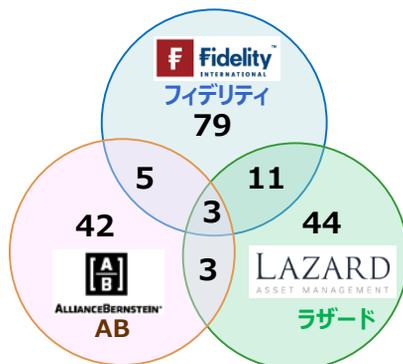
運用会社	 ファイデリティ・インターナショナル	 アライアンス・バーンスタイン (AB)	 ラザード・アセット・マネージメント・グループ
投資チームの特徴	充実したファイデリティの調査・運用体制を体現するチーム	ABから運用の独立性を与えられた少数精鋭のチーム	新興国含めた世界を舞台にラザードらしい機動力で勝負するチーム
運用特性 (集中/分散)	 分散	 集中	 集中
会社紹介 (2018年9月末現在)	【会社設立】 1969年 【運用資産残高】 約2,365億英ポンド 【主要運用拠点】 ロンドン	【会社創立】 1967年 【運用資産残高】 約5,504億米ドル 【本社所在地】 ニューヨーク	【資産運用部門設立】 1970年 【運用資産残高】 約2,160億米ドル 【グループ本拠地】 ニューヨーク

(出所) 各副投資顧問会社の情報等を基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。上記の運用戦略等は今後変更される場合があります。

各マネージャーの組入銘柄の重なり度合

2018年10月31日現在、ファンドの組入銘柄数は187銘柄でした。組入銘柄の重なりをみると、3マネージャーで重複する銘柄は少なく、各マネージャーとも独自の投資プロセスに則った運用を行なっているといえます。



単位: 銘柄数
(出所) 各副投資顧問会社の情報等を基に野村アセットマネジメント作成

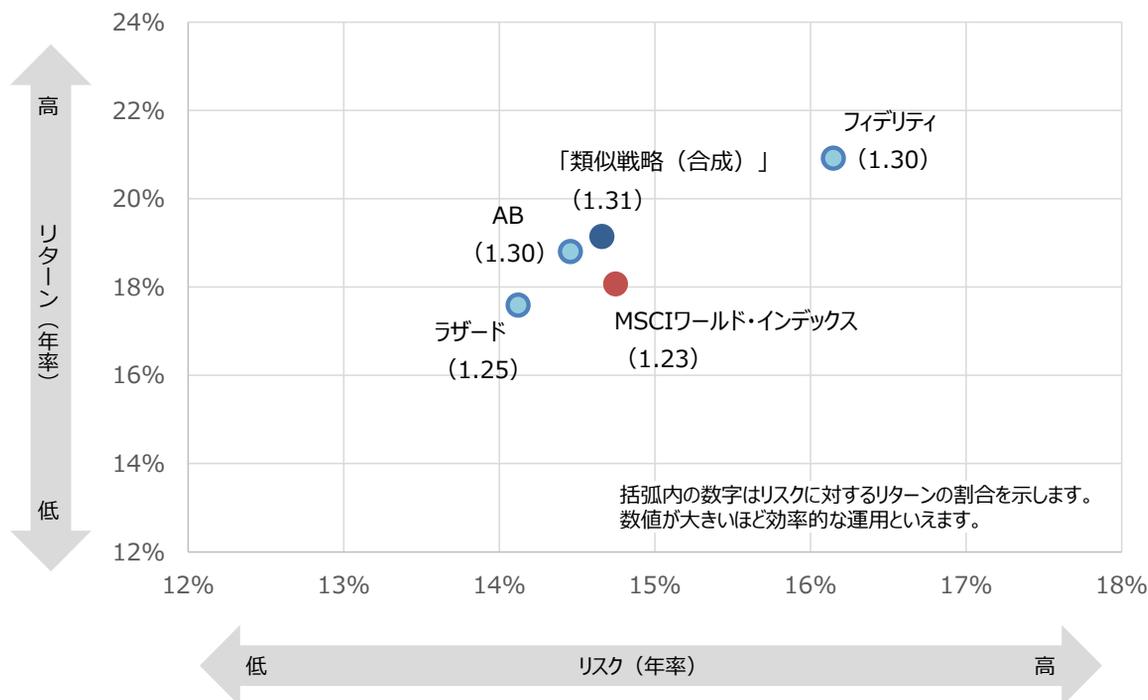
上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

リスク・リターン分布

3マネージャーの類似戦略のうち、フィデリティとABは主要国株式（MSCIワールド・インデックス、配当込み、円ベース）と比較して高いリターンとなりました。ラザードについては、リターンは下回ったものの、リスクは低く、リスクに対するリターンの割合（＝リターン÷リスク）では主要国株式を上回りました。

また、3マネージャーを組み合わせることで「類似戦略（合成）」のリスクに対するリターンの割合は高くなり、リスクを抑えた効率的な運用となったことが分かります。

2012年5月末～2018年10月末、月次



「フィデリティ」「AB」「ラザード」は、ファンドの投資対象である外国投資信託を運用する各マネージャーの類似戦略を円換算したものです。

「類似戦略（合成）」については2ページをご参照ください。

上記のリスク・リターン分布においては、運用管理費用は考慮していません。

リスクは月間変化率の標準偏差を年率換算しています。

標準偏差とは、平均的な収益率からどの程度値動きが乖離するか、値動きの振れ幅の度合いを示す数値です。

（出所）各副投資顧問会社の情報等を基に野村アセットマネジメント作成

**上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。**

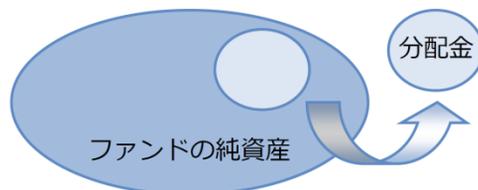
<当資料で使用した指数について>

主要国株式：MSCIワールド・インデックス

●MSCIワールド・インデックスはMSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

分配金に関する留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



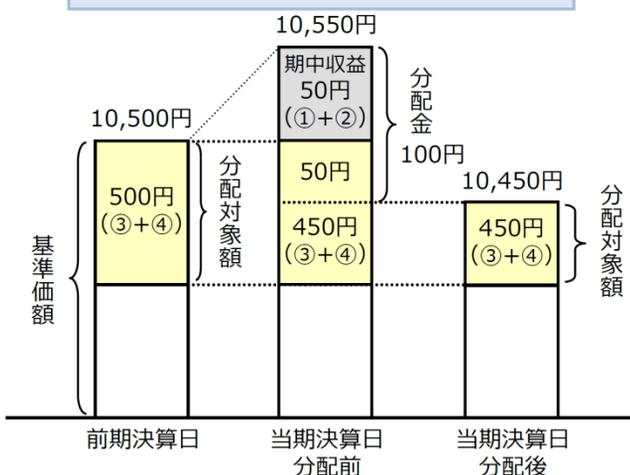
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

- ・計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

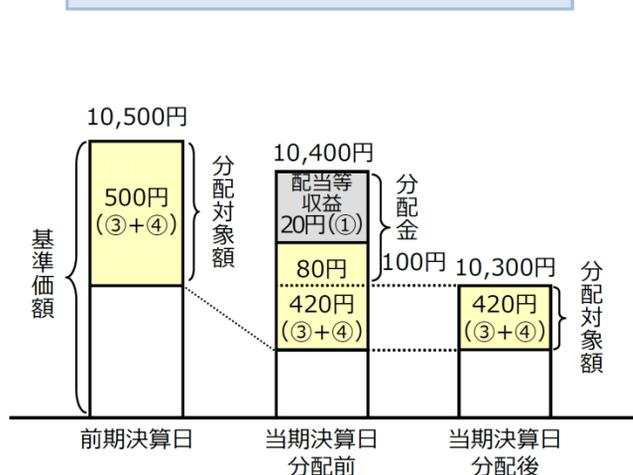
※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

前期決算から基準価額が上昇した場合

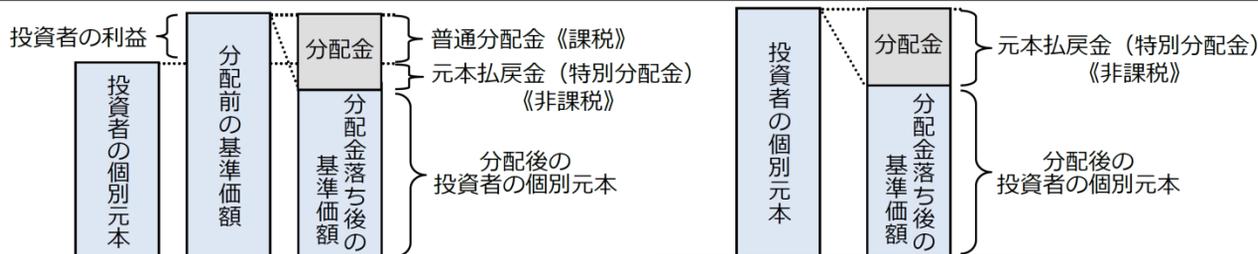


前期決算から基準価額が下落した場合



- 投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

- ◇普通分配金 … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金 … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。



※投資者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。

（注）普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 世界各国(新興国を含みます。)の株式(DR(預託証券)^{※1}を含みます。)を実質的な主要投資対象^{※2}とします。
※1 Depository Receipt(預託証券)の略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。
※2「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 「グローバル・ストック」は、分配頻度、投資する外国投資信託において為替ヘッジの有無の異なる4つのコース(Aコース、Bコース、Cコース、Dコース)から構成されています。

	為替ヘッジあり [※]	為替ヘッジなし
年2回分配	Aコース	Bコース
毎月分配	Cコース	Dコース

※実質組入外貨建資産について、一部の通貨においては、米ドル売り円買いの為替取引により、対円での為替ヘッジ効果を狙います。

- 各々以下の円建ての外国投資信託「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーグローバル・ストック」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。

ファンド	投資対象
Aコース	(外国投資信託)ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーグローバル・ストックークラスA (国内投資信託)野村マネー マザーファンド
Bコース	(外国投資信託)ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーグローバル・ストックークラスB (国内投資信託)野村マネー マザーファンド
Cコース	
Dコース	

- 通常の状況においては、「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーグローバル・ストック」への投資を中心とします[※]が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。
※通常の状況においては、「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーグローバル・ストック」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

■外国投資信託「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーグローバル・ストックークラスA/クラスB」の主な投資方針について■

- ・世界各国(新興国を含みます。)の株式(DR(預託証券)を含みます。)を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。
- ・クラスAについては、組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジ(一部の通貨においては、米ドル売り円買いの為替取引)により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
- ・クラスBについては、組入外貨建資産について原則として為替ヘッジを行いません。

- ・投資顧問会社が、世界各国の株式の運用を行なう副投資顧問会社の選定と、各副投資顧問会社が運用する信託財産の配分比率を決定します。
- ・副投資顧問会社の選定にあたっては、運用体制や運用プロセスなどに対する独自の定性評価を重視し、世界各国の株式の運用において優れていると判断した運用会社を選定します。
- ・投資顧問会社は選定した副投資顧問会社およびファンド全体のリスク特性の状況を絶えずモニターし、必要に応じて各副投資顧問会社が運用する信託財産の配分比率の変更や副投資顧問会社の入替を適宜行ないます。
* 投資顧問会社は、副投資顧問会社の選定および信託財産の配分比率決定にあたり、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社より助言を受けます。

名称	
	AllianceBernstein L.P.
	FIL Investments International
	Lazard Asset Management Limited

- ・出所:投資顧問会社(野村アセットマネジメント)作成
- ・上記の各副投資顧問会社は、2018年10月31日現在のものであり、投資顧問会社の投資判断その他の理由により、適宜増減および入替が行なわれる可能性があります。

- ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- 「Aコース」「Bコース」間および「Cコース」「Dコース」間でスイッチングができます。

【ファンドの特色】

●分配の方針

◆Aコース、Bコース

原則、毎年3月および9月の27日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

◆Cコース、Dコース

原則、毎月27日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。分配金額は、分配対象額の範囲内で、配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。なお、決算期末の前営業日の基準価額(1万口あたり。支払済みの分配金累計額は加算しません。)が11,000円以上の場合、分配対象額の範囲内で、別に定める金額の分配(注)を行なうことを目指します。

(注)決算期末の前営業日の基準価額に応じて、下記の金額の分配を行なうことを目指します。

決算期末の前営業日の基準価額	分配金額(1万口あたり、課税前)
11,000円未満	配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して決定します。
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

- * 基準価額に応じて、分配金額は変動します。基準価額が上記表に記載された基準価額の水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。
- * 分配金を支払うことにより基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。
- * 決算期末にかけて基準価額が急激に変動した場合等には、委託会社の判断で上記表とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。
- * 上記表に記載された基準価額および分配金額は、将来の運用の成果を保証または示唆するものではありません。

※委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

【投資リスク】

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、株式等に実質的に投資する効果を有しますので、当該株式の価格下落や、当該株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも債券価格変動リスクなどがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2026年3月27日まで(2015年12月9日設定)
- 決算日および収益分配 「Aコース」「Bコース」:年2回の決算時(原則、3月および9月の27日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。「Cコース」「Dコース」:年12回の決算時(原則、毎月27日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)または1万円以上1円単位(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「Aコース」「Bコース」間および「Cコース」「Dコース」間でスイッチングが可能です。※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合または12月24日である場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。・ニューヨーク証券取引所 ・ニューヨークの銀行・ロンドン証券取引所 ・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルグの銀行
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

◆お申込みは

野村証券

商号:野村証券株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号
 加入協会:日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/
 一般社団法人金融先物取引業協会/
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

【当ファンドに係る費用】

(2018年11月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.08%(税抜年1.00%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率(注) 年1.98%程度(税込) (注)ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
◆その他の費用・手数料	組入価額証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様ที่ファンドを保有される期間等に依りて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 加入協会:一般社団法人投資信託協会/
 一般社団法人日本投資顧問業協会/
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。